

ブラジルにおける 2 例目の牛海綿状脳症(BSE)の確認について

1. 症例の概要

- ・年 齢：約 12 歳（2014 年 3 月 19 日殺処分）
- ・産 地：マットグロッソ州
- ・種 類：肉用繁殖雌牛
- ・同 居 家 畜：牛 1,177 頭、水牛 11 頭
- ・給 与 飼 料：牧草及びミネラル塩
- ・処 分：当該牛のSRMはと畜場で焼却処分され、食肉及びその他の製品は食品・飼料チェーンに入っていない
- ・コホート牛：当該牛の出生前後 1 年に出生した 49 頭を特定
いずれも臨床症状はなく、BSE 検査の結果は陰性

2. 発生確認までの経緯

- ・ 3 月 19 日：当該牛は神経疾患症状がなく、と畜場に搬送。と畜前検査において、検査官が起立不能を確認、通常と畜に適さないと判断され殺処分、BSE 検査のための検体を採取
- ・ 4 月 14 日：国立検査所（Lanagro/PE）における免疫組織化学検査によって BSE 陽性の結果
- ・ 5 月 1 日：英国動物衛生獣医研究所（AHVLA）における免疫組織化学検査によって BSE 陽性の結果
- ・ なお、5 月 9 日に「9 日現在、明確な型分類の特定には至っていないが、非定型 BSE（H 型）の特性を示すことを AHVLA が報告した。」とブラジル農務省が公表（要確認）



出典：OIEウェブサイト（2014年5月2日付け）

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=15148